

## 春日井市環境基本計画 2022-2030（中間案）に対する市民意見と市の考え方

| 番号 | 項目                              | ご意見の内容  | 市の考え方  |
|----|---------------------------------|---|--|
| 1  | 第 4 章<br>生物多様性<br>地域戦略<br>(p56) | <p>■生息・生育環境の保全について</p> <p>市内の良好な湿地は、自然環境として特に重要な地域だが、東海自然歩道以外は保全措置が講じられていない。近隣自治体においては開発が進んでいるところもあり、今後市内での開発も危惧されるため、当該地域の保全対策について検討してほしい。</p> | <p>市では自然環境保全活動推進員を委嘱し、市東部の丘陵地帯をはじめとした様々な場所における自然環境保全活動を推進しています。</p> <p>今後、大規模開発等により自然環境への影響が懸念される場合は、関係法令に基づき適切に対応してまいります。</p>   |
| 2  | 第 4 章<br>生物多様性<br>地域戦略<br>(p57) | <p>■外来種対策について</p> <p>関西などではクビアカツヤカミキリにより桜の木に被害が出ていると聞く。市民協働のパトロール強化などで監視を強め、桜を守ることが、春日井市の美しい景観を守り、ブランドカアップにも重要だと思うがどうか。</p>                     | <p>クビアカツヤカミキリによる被害は、名古屋市をはじめとする近隣自治体においても確認されていることから、情報収集に努めています。</p> <p>緑豊かな自然環境を保全し、将来に引き継いでいくことが重要と考えており、新たな外来種による被害情報等を確認した場合は、関係部局や近隣自治体等との連携を図り、速やかに対処してまいります。</p> |